

2025 年 7 月 15 日

各 位

上 場 会 社 名 タケダ機械株式会社
代 表 者 代表取締役社長 竹田 雄一
(コード番号 6150)
問 合 せ 先 常務取締役管理部長 鈴木 修平
(T E L 0761-58-8231)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2025 年 7 月 15 日開催の取締役会において、2024 年 7 月 16 日付「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」で公表しました内容についての現状の評価、分析を行うとともに、取組み内容の更新を決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 現状の分析、評価について

当社株価の分析指標の推移(表②)に記載の項目のうち、P B R、P E Rについては過去 5 年間の単純平均値が P B Rは 0.56 倍、P E Rは 10.51 倍となっており、一方、日本取引所グループの統計月報で公表されている東京証券取引所スタンダード市場の当該単純平均値(2025 年 5 月末日時点)では P B Rは 0.8 倍、P E Rは 13.2 倍となっております。各指標を比較した結果、当社株価の分析指標数値が下回っていることから、株式市場における当社株価は割安に評価されております。

この主な要因は、当社の株主数が全体的に少なく、かつ、個人の株主様が安定的に保有する傾向にあることが当社株式の流動性に大きく影響を与えており、当社株式の認知度が低いことも重なって、総じて他の株式銘柄と比較して株式市場における日々の出来高(取引量)が少なくなり、当社株価に影響を与えていると考えております。

この対策として、2024 年 7 月 16 日付「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」で公表しました改善を講じてまいり、当社株価については全体的な市場の動向に影響を受けつつも、2020 年 5 月末日時点の当社株価(終値)2,253 円から徐々に上向き、株主数とともに改善傾向にあります。

しかしながら、当社グループの業績推移とともに 1 株当たり純資産も上昇しており、P B Rの改善には至っていない結果となっております。

① 当社グループの経営指標に対する連結業績の推移

	2021 年 5 月期	2022 年 5 月期	2023 年 5 月期	2024 年 5 月期	2025 年 5 月期
売上高 (百万円)	3,500	4,444	4,689	5,464	4,890
経常利益 (百万円)	178	409	416	659	441

② 当社株価の分析指標の推移

	2021 年 5 月期	2022 年 5 月期	2023 年 5 月期	2024 年 5 月期	2025 年 5 月期
1 株当たり当期純利益 (円)	129.36	283.73	344.63	464.51	319.43
1 株当たり配当金 (円)	30.00	50.00	60.00	80.00	80.00
1 株当たり純資産 (円)	4,426.76	4,696.05	4,994.98	5,437.86	5,673.45
期末株価 (終値) (円)	2,480	2,611	2,571	3,450	2,974
配当性向 (%)	23.2	17.6	17.4	17.2	25.0
配当利回り (%)	1.21	1.91	2.33	2.32	2.69
P B R (倍)	0.56	0.56	0.51	0.63	0.52
P E R (倍)	19.17	9.20	7.46	7.43	9.31

③ 当社株式を 100 株保有する株主に付与する株主優待ポイント、期末時点の株主数及び実質利回りの推移

	2021 年 5 月期	2022 年 5 月期	2023 年 5 月期	2024 年 5 月期	2025 年 5 月期
株主優待ポイント(注) (円)	—	30.00	30.00	30.00	30.00
期末時点の株主数 (人)	828	910	1,217	1,348	1,557
実質利回り (%)	1.21	3.06	3.50	3.19	3.70

(注) 当社の株主優待制度では当社株式を 100 株保有する株主様に付与する株主優待ポイントの設定を 3,000 ポイントとしており、表中の記載は 1 ポイントを 1 円と見做し、1 株当たり優待ポイントとして換算しております。

また、当社の株主優待制度では期末時点の株主名簿に記載する株式保有数に応じて 7 つの区分に分類し、それぞれの区分に見合った株主優待ポイントを付与しております。株主優待ポイントはカタログ商品等と交換してご利用することのほか、当社と同じ株主優待制度を採用した他社が付与する株主優待ポイントと合算してご利用することもできるなど、利便性が高いものとなっております。詳細については、<https://takeda-mc.premium-yutaiclub.jp/> のインターネットサイトにアクセスの上、内容等をご確認ください。

2. 改善に向けた方針、目標について

当社株式の流動性と認知度の向上に重点を置き、当社株価の改善に向けた方針を以下のとおり実施してまいります。

① 株主優待制度の継続と実質利回りの向上（継続）

株主優待制度は株価対策において一定の成果があり、当該制度の有効性とその継続の重要性を再確認し、株主様への利益還元として配当政策に株価を意識した配当利回りを織り込み、当社株式を 100 株保有する株主様を基準とした実質利回りの向上に努めてまいります。

また、1 株当たり当期純利益では、2025 年 5 月期は対前期比で 31.2%減、本日公表の「2025 年 5 月期 決算短信」中に記載の 2026 年 5 月期(予想)は 21.7%減となっているものの、実質利回りを考慮し、配当金は 2024 年 5 月期と同額の 80 円にそれぞれ据え置いております。

② 株式流動性の向上（更新）

株主数と株式市場における日々の出来高(取引量)を改善させつつ、次項「自己株式の取得」の実施により影響を与える流通株式比率と流通株式時価総額との関連性を鑑み、本項「株式流動性の向上」については前回の公表から優先順位を変更し、改めて流通株式比率の目標値を50%超と設定することとします。

なお、流通株式比率の推移は、次のとおりであります。

2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期	→	目標
35.3%	35.8%	42.1%	47.2%	48.3%		50.0%超

また継続して、取引先持株会や従前に政策保有株式として相互に株式を持ち合った取引銀行を始め、安定株主である関係取引先の皆様に最近の情勢を説明しつつ、株式売買を促進するよう働きかけてまいります。

③ 自己株式の取得（更新）

流動株式比率と流通株式時価総額との関連性を鑑みて前回の公表から優先順位を変更し、流動株式比率50%超を維持しつつ、将来の財務諸表の状況を見極めて判断してまいります。

中長期にかけて自己株式の取得を実施して1株当たり当期純利益や実質利回りの向上を図り、当社における資本コストの削減とこれを株主様に利益還元することによって、当社株価の向上に努めてまいります。

④ 当社株式における認知度の向上（継続）

当社の株主様となる可能性がある個人投資家に向けて、毎年3月を目処に、潜在株主調査を調査会社へ委託して実施することとし、2025年5月期においては2025年3月3日から2日間にかけて実施しました。

当調査はインセンティブのあるもので、当社グループの事業や財務諸表の状況等を知っていただき、アンケートに応じた方々からの貴重な意見を分析しつつ、当社株式の購入をご検討いただく機会を提供しております。

以 上